

◎フージャース、オリジナル住設を企画化
―第1号導入物件「川口元郷」が販売好調―

フージャースコーポレーションは、オリジナルで開発した住宅設備の工夫などを、「フージャースのものづくり」として前面に打ち出し、「ここぞ踊る、住まい」として商品企画化、PRにつなげていく。導入第1号物件となる川口市の分譲マンション「ディオヒルズ川口元郷」（総戸数62戸）では好評を得ており、順次、分譲物件に導入していく。

同商品企画は、子供が鏡を見られるよう配慮した洗面化粧台、玄関ドアに設置した大人用・子供用2つのドアスコープ、玄関収納底板を取り外し可能にする点とで、ブーツやベビーカーを収納できるようにするといった工夫を、「ぱぱっと家事」「もっと収納」「ずっと安心」「ちゃんとエコ」の4テーマに分けて、提案・紹介する。同社は社員の50%が女性で、従来から家事や育児の体験をものづくりに活かし商品提案してきたが、わかりやすく整理・分類した。

「もっと収納」を先行導入し、最低でも11%の収納率を確保した「デュオヒルズ川口元郷」は、順調な売出しをみせている。同物件（川口市2―497―1）は、埼玉高速鉄道・川口元郷駅徒歩13分に位置する地上7階建て。間取り2LDK+Sと3LDK+S、専有面積65・78と91・56㎡。第1期販売価格は2598万と3798万円。事前広告をほとんど行わずに2月中旬から販売を開始。競合物件の多い中、特に女性客から共感を得て、販売1カ月で4割にあたる26戸を契約した。収納率の高い住戸が人気。「デュオ掘切菖蒲園」（総戸数47戸）、「ディオヒルズつくば吾妻」（総戸数125戸）などで全面的に導入する。

欲しかった暮らしを、しよう。